

小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和7年1～3月期)

延岡商工会議所／中小企業相談所

延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階

TEL 0982(33)6666

FAX 0982(33)6682

I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	65事業所
3. 回答率	52.0%
4. 業種別内訳	
製造業	8事業所
建設業	5事業所
卸売業	3事業所
小売業	23事業所
サービス業	26事業所
合 計	65事業所

5. 実施時期

令和7年 4月上旬～5月下旬

6. 調査対象期間

令和7年 1月から3月（第4四半期）

7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がり意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売 上：（増加）－（減少）

採 算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従 業 員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業 況：（好転）－（悪化）

8. 調査方法

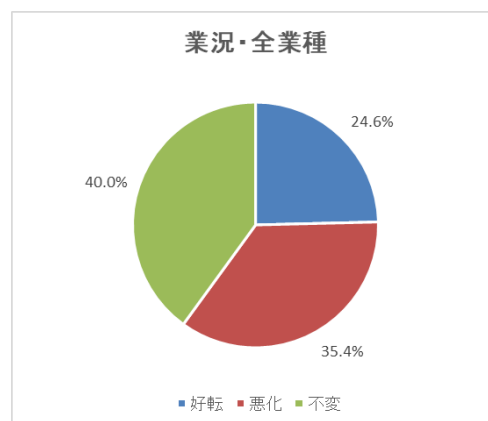
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

Ⅱ．概況

1．全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和6年1月～3月）のD I 値は▲10.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は24.6%、
悪化したと回答した事業所が35.4%、
変わらないと回答した事業所は40.0%だった。



令和6年1～3月の前年同期比について、売上増の回答も増えているが、依然として人手不足や仕入価格の高騰が課題となっており、価格転嫁が行えず、採算や資金繰りの面が悪化しているという声が多かった。

	R6. 1～3 前年同期比	R6. 10～12 前期比	R7. 4～6 見通し
全業種	▲10.8	▲7.7	▲6.2
製造業	▲12.5	▲25.0	0.0
建設業	20.0	60.0	▲20.0
卸売業	▲33.3	▲100.0	▲33.3
小売業	▲30.4	▲21.7	▲26.1
サービス業	3.8	7.7	15.4

来期見通し（令和7年1～3月）のD I 値については、▲6.2ポイント。

全業種、悪化の見込み。

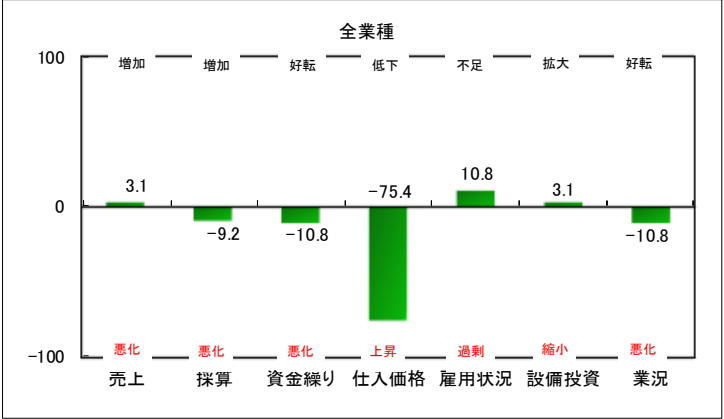
各業種で、仕入価格の上昇・人手不足が変わらず不安要素として挙がっているが、前期調査より、D I 値が落ち着いており、景気回復や集客増などプラスな見込回答も見かけられた。

。

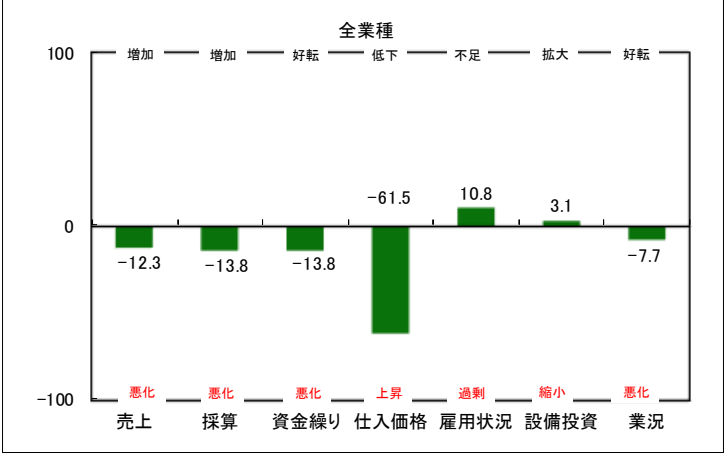
市内景気動向

全業種

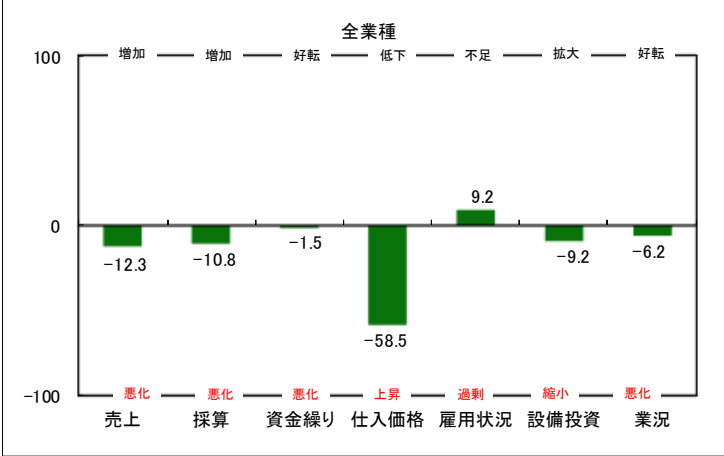
前年同期比(令和6年1～3月期比)



前期比(令和6年10～12月期比)



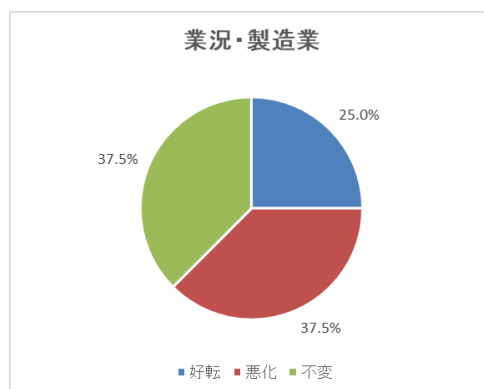
来期見通し(令和7年4～6月期見通し)



2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲12.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、25.0%、
悪化したと回答した事業所が37.5%、
変わらないと回答した事業所が37.5%だった。



来期見通しD I 値については0.0ポイントで、
現状維持の見通しとなっている。

○主な意見

【水産加工業】

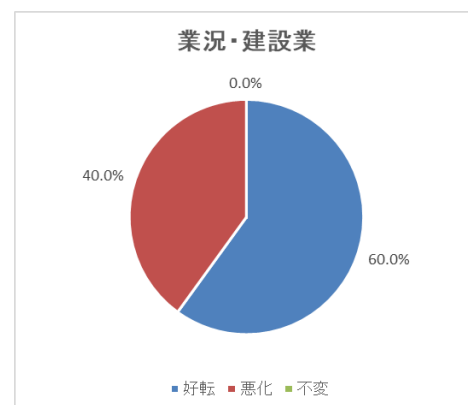
- ・「売上のお半が漁の水揚げに影響を受けているので、長引く不漁と設備の改修が重なり、資金繰りも厳しさを増している。未だ不漁期の中である。」

【半導体製造装置製造業】

- ・「交渉により発注量の増加と加工賃の値上げが進展した。」

- ② 建設業の業況判断は、
前年同期比のD I 値20.0ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は60.0%、
悪化したと回答した事業所は40.0%、
変わらないと回答した事業所は0.0%だった。



来期見通しのD I 値は、▲20.0ポイントで、悪化の見通しとなっている。

○主な意見

【土木工事業】

- ・「法人化を行い、住宅工事などを受注し売上は拡大傾向」

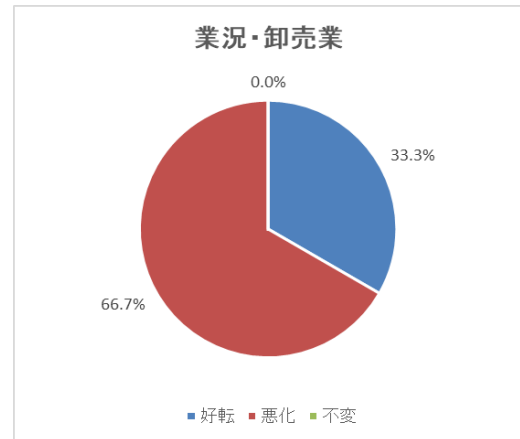
【量製造業】

- ・「住宅着工の減少、借入金の増加、利息負担の増加」

- ③ 卸売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は33.3%、
悪化したと回答した事業所が66.7%、
変わらないと回答した事業所0.0%だった。

来期の見通しD I 値は、▲33.3ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【建材卸業】

- ・「建築資材の高騰により、住宅及び企業の設備投資減少」

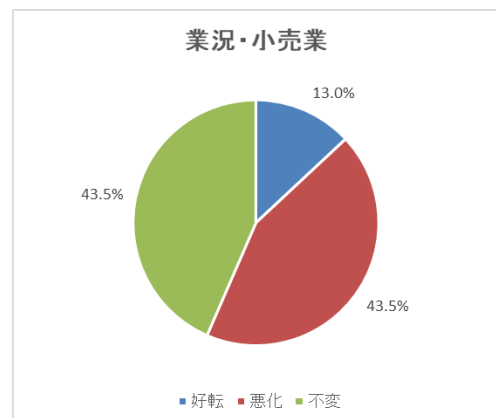
【文房具・事務用品業】

- ・「R7.1月～3月は年度末の需要期ではありましたが、前年度の売上より減少してしまった。」

- ④ 小売業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が▲30.4ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は13.0%、
悪化したと回答した事業所は43.5%、
変わらないと回答した事業所は43.5%だった。

来期の見通しD I 値は、▲26.1ポイントで、
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【自動車小売業】

- ・「今年は去年より厳しい年と思います。円安、物価高が続き、去年以上に不景気になっていると思います。」

【製菓業】

- ・「仕入価格の高騰とお客様の買い控え」

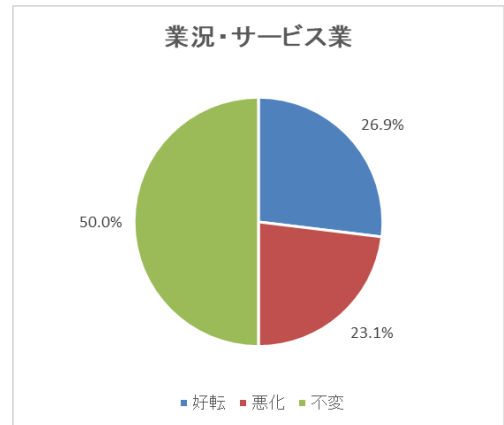
【美術品小売業】

- ・「県道の拡幅工事により、来客時のアクセスに影響。工期の短縮化など出来ないかと感じている。県外での展示会なども行っているが見通しが立ちづらく安定しない。」

⑤ サービス業の業況判断は、
前年同期比のD I 値が3.8ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は26.9%、
悪化したと回答した事業所は23.1%、
変わらないと回答した事業所は50.0%だった。

来期見通しD I 値は、15.4ポイントで、
好転の見通しとなっている。



○主な意見

【リハビリサロン業】

- ・「集客は安定しているがまだ対応できる余地はある。」

【自動車整備サービス業】

- ・「取引先同業他社の参入で売上の減。仕入価格の上昇により悪化。」

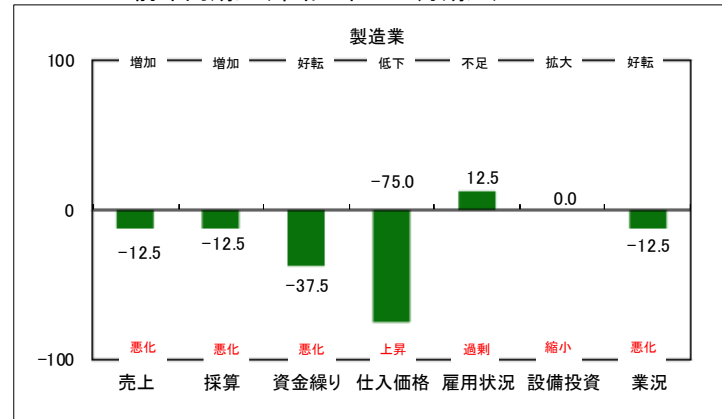
【飲食サービス業】

- ・「2~3 月は一時的に売上が上がったが、3 月後半から近隣に飲食店が開業し、客足が鈍った。
今後も影響が出る可能性があり、先行きが読めない。資金繰りに課題を抱えている。」

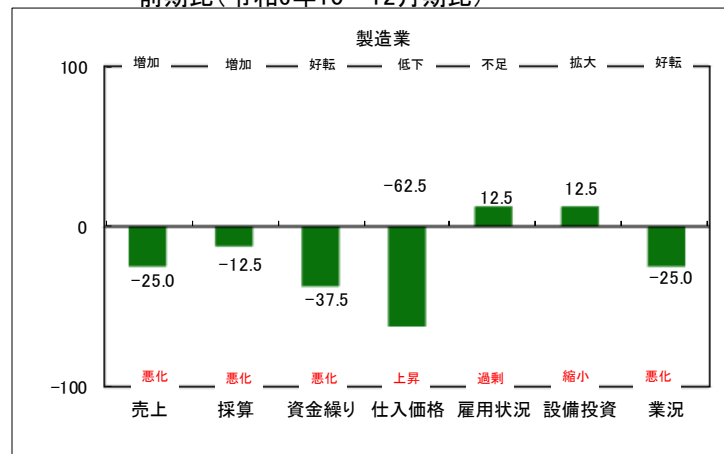
業種別景気動向

製造業

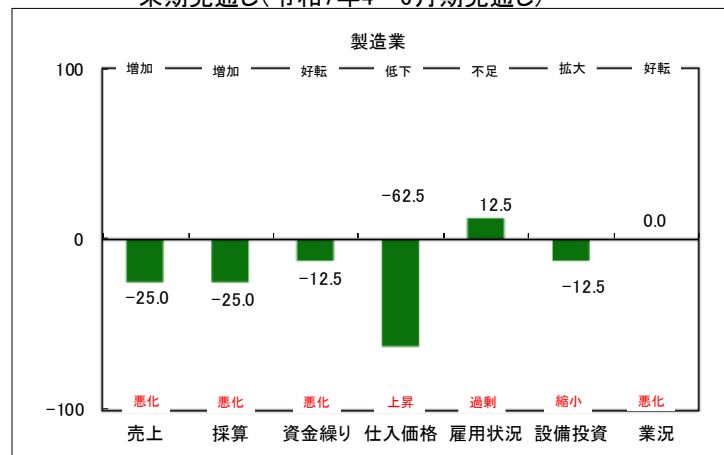
前年同期比(令和6年1～3月期比)



前期比(令和6年10～12月期比)



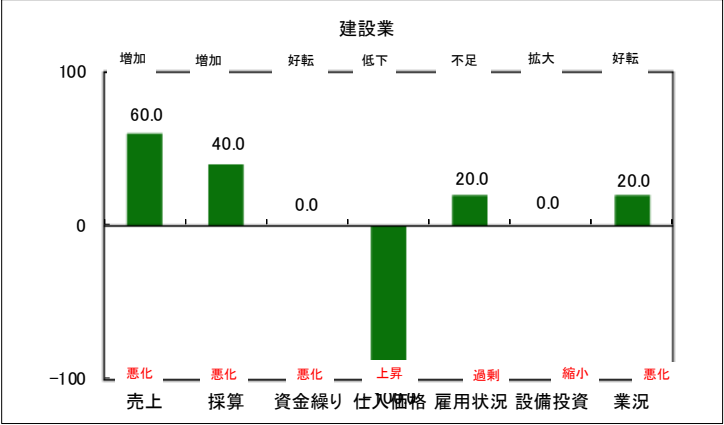
来期見通し(令和7年4～6月期見通し)



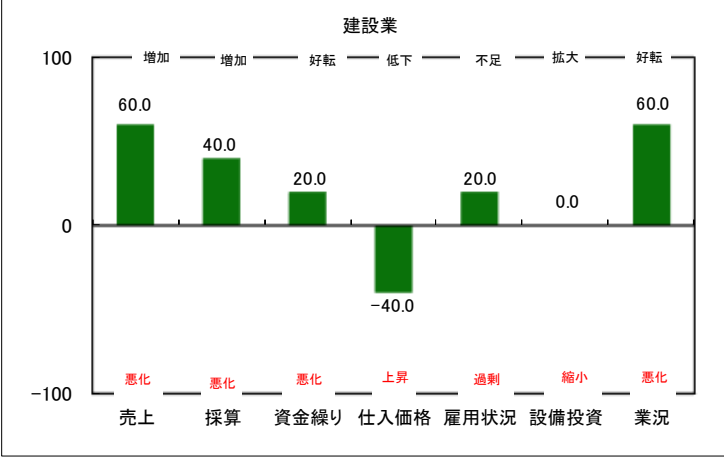
業種別景気動向

建設業

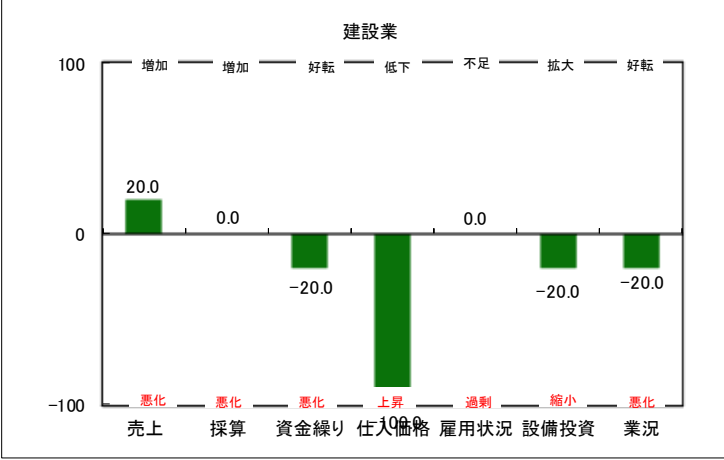
前年同期比(令和6年1～3月期比)



前期比(令和6年10～12月期比)



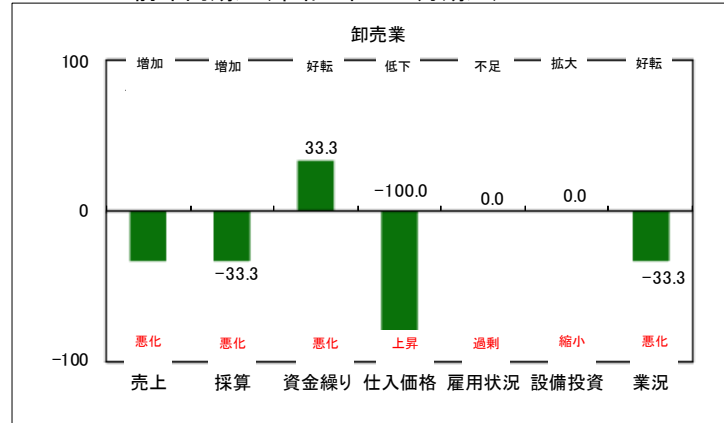
来期見通し(令和7年4～6月期見通し)



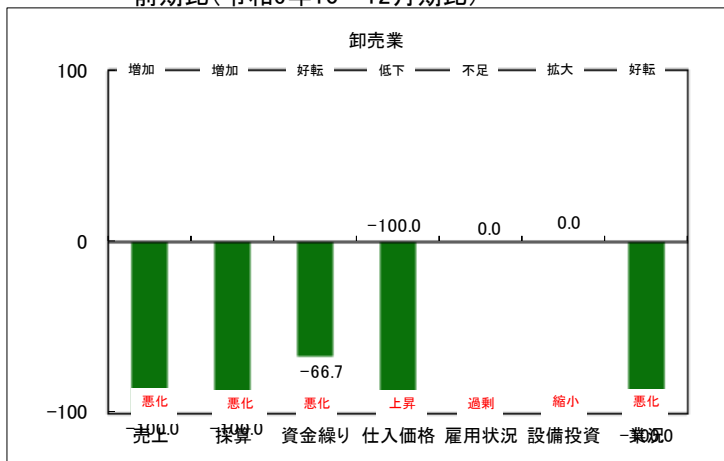
業種別景気動向

卸売業

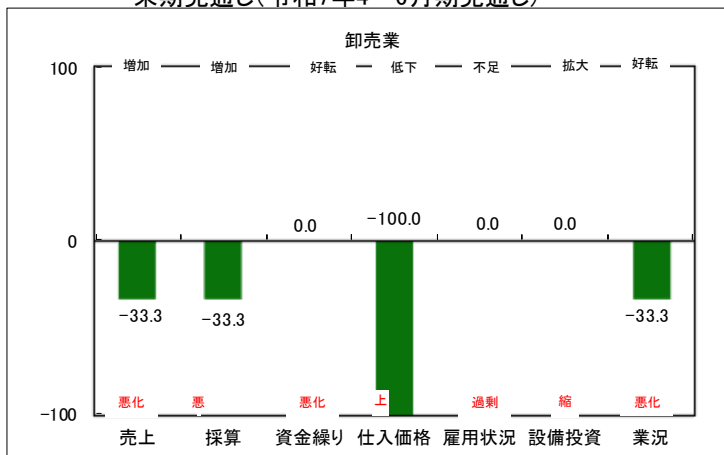
前年同期比(令和6年1～3月期比)



前期比(令和6年10～12月期比)



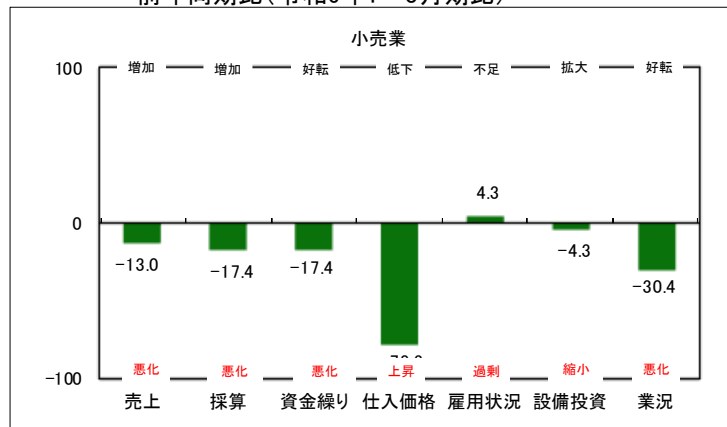
来期見通し(令和7年4～6月期見通し)



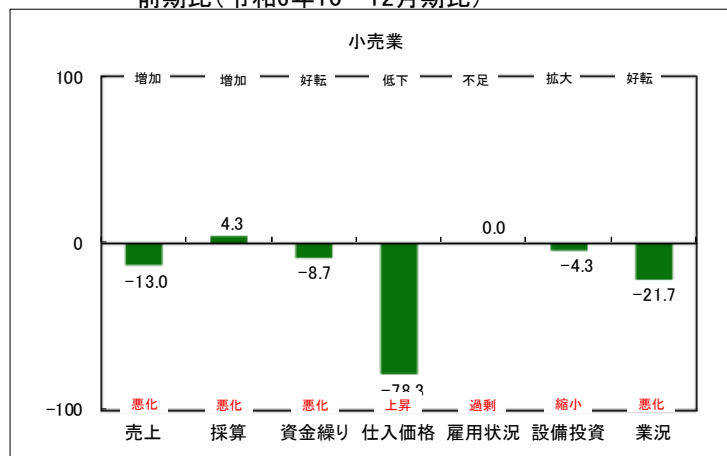
業種別景気動向

小売業

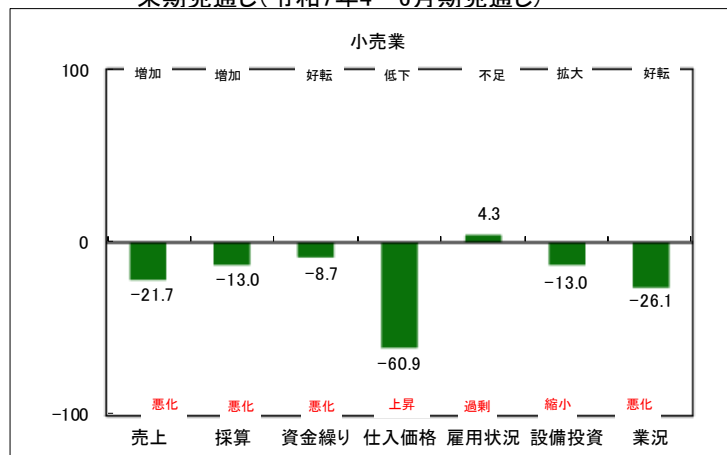
前年同期比(令和6年1～3月期比)



前期比(令和6年10～12月期比)



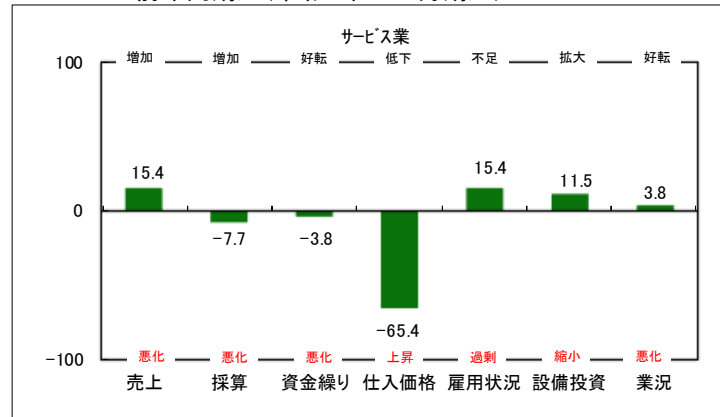
来期見通し(令和7年4～6月期見通し)



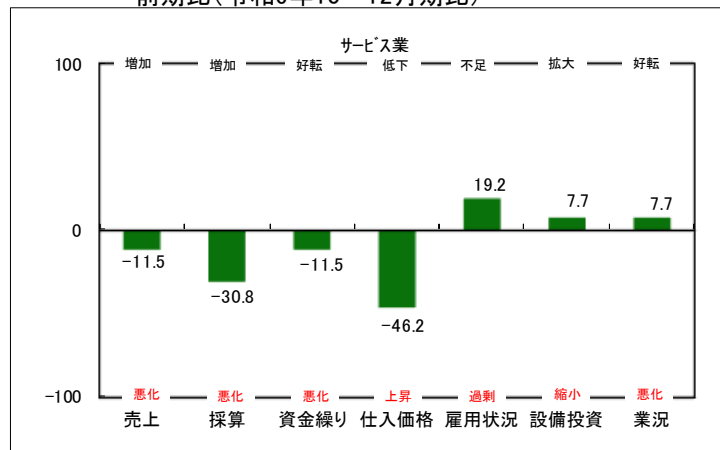
業種別景気動向

サービス業

前年同期比(令和6年1～3月期比)



前期比(令和6年10～12月期比)



来期見通し(令和7年4～6月期見通し)

